

和水勢が表彰台を彩る

第 65 回全日本中学校通信陸上競技大会

7月21日、熊本県民総合運動公園陸上競技場で、第65回全日本中学校通信陸上競技大会熊本県大会が開催されました。

大会は、各種目の標準記録を突破した県内の中学生しか出場できない大会で、県陸上競技協会や中学校体育連盟などが主催するもの。

この大会の女子2年800mで、柴尾香澄さん（菊水中）と山下紗瑛さん（三加和中）が表彰台を彩りました。

1位に輝いた柴尾さんは、「予選から決勝に残ることしか念頭になかった。レースは、最初から3人で先頭を争う展開だった。終盤少しペースを上げ、ラスト100mで先頭に立ち2人を引き離してゴールした。ゴールした瞬間と表彰台の一番高いところに立てたときはとても嬉しかった」と話してくれました。

また3位に入った山下さんは、「初めて表彰台にあがることができて嬉しかった。もっと記録を伸ばして、上の順位を目指して練習を頑張りたい」と語ってくれました。



女子2年800mで優勝した柴尾香澄さん



表彰台で記念撮影

金栗四三さんの全てを満喫

和水町ペースランニングを開催

7月14日、会話のできるスピードで走るペースランニングイベントが、金栗四三ミュージアムを発着点とする全長約15kmのコースで行われました。

同日は、金栗さんが1912年に日本人として初めてオリンピックのマラソンに出場した記念の日。

当日は雨であいにくな天気でしたが、イベントには九州各県から約80人が参加しました。

午前9時30分にミュージアム前をスタート。三加和小中学校前を通り、生家記念館で給水し、その後起伏の多い金栗ロードへ。金栗さんが通った南関第三小学校（旧玉名北高等学校）で二回目の給水をし、国道443号を南下。参加者は、午前11時頃から次々にフィニッシュしました。

ゴール後、参加者に、三加和温泉入浴券、ミュージアムの招待券、弁当やシナモンロールなどが配られ、金栗さんの生誕の地にちなんだものを満喫していました。



ミュージアム前から走り始めるランナーら

水上の熱き戦い

～第17回和水川舟ペーロン大会～

<優勝チーム>

● 一般の部	● 分館の部	● 女性の部	● 中学生の部	● 小学生の部
和水町スポーツ推進委員	日平分館	菊中3年キヨミンス	フレッシュチャレンジャーズ（菊水中）	リバー15（菊水西小）
2分29秒98	2分40秒84	2分39秒84	2分50秒37	2分58秒21

8月3日、菊池川白石堰上流で第17回和水川舟ペーロン大会が開催されました。

和水川舟ペーロン大会は、往復250mのコースを舟で漕ぎ、その速さを競う競技です。

今年も5部門（小学生・中学生・女性・分館・一般）に分かれて、学校、地域、職場などの仲間で結成された全24チームが、水上で熱き戦いを繰り広げました。

優勝を目指して舟を漕ぐ姿に、多くの歓声が飛んでいました。



小学生の部で優勝したリバー15（菊水西小）

和水町のキャラバン・メイトが新たに誕生

玉名圏域キャラバン・メイト養成研修終了



キャラバン・メイトとなった迎田さん、日永さん、古家さん、中村さん（左から）

7月21日と27日に、平成31年度玉名圏域キャラバン・メイト養成研修を玉名市で開催しました。

キャラバン・メイトとは、自治体事務局などと協働して地域や職場・学校などで認知症サポーターの育成を行い、認知症になっても安心して暮らせる町づくりに向けて、リーダー役となって活躍していただく人のことです。

和水町からは医療・福祉の専門職4人が参加。2日間の研修を終了し、晴れてキャラバン・メイトとなりました。

（キャラバン・メイト）

迎田 昌幸 さん
（清風苑 理学療法士）

古家 康生 さん
（清風苑 介護福祉士）

中村 全 さん
（清風苑 理学療法士）

日永 誠一朗さん
（和水町包括 社会福祉士）